

令和6年教育委員会 第9回定例会

1 日 時 令和6年9月26日(木) 13時30分開会 14時30閉会

2 場 所 教育委員会庁舎1階 第1会議室

3 出席委員	教育長	中 島 正 人
	教育委員	小 澤 倭文夫
	教育委員	常 見 幸 司
	教育委員	黒 田 仁 美
	教育委員	吉 田 敬 徳

4 欠席委員 なし

5 出席職員	教育部長	鈴 木 健 介
	教育部次長	野 呂 武 志
	学校教育支援室長	谷 口 剛
	学校教育支援室主幹(学務担当)	南 昭 一
	生涯学習課長	山 澤 亮 司
	教育部主幹(新総合体育館整備担当)	近 藤 玲 司
	教育部主幹(新総合体育館整備担当)	木 村 清 仁
	教育総務課長	佐々木 雅 一
	教育総務課総務係長	深 田 友 和
	教育総務課総務係	高 橋 ありさ

6 傍 聴 人 なし

7 議 題

議案第1号 小樽市社会教育委員の委嘱案

報告第1号 令和6年度 第75回 小樽市文化祭について

報告第2号 公立高等学校配置計画(令和7年度(2025年度)～9年度(2027年度))及
び令和7年度(2025年度)公立特別支援学校配置計画について

報告第3号 新総合体育館整備事業について

その他 寄附採納について

8 議 事

教育長 ただ今から、教育委員会第9回定例会を開会いたします。

本日の会議の議事録署名委員に、黒田仁美委員を指名させていただきます。

はじめに、お諮りいたします。

「報告第3号 新総合体育館整備事業について」は、会議規則第13条第1項第5号により、非公開とし、議事録については結果のみ記載することとし、最後に審議していただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

教育長 では、そのように進めさせていただきます。

それでは、「議案第1号 小樽市社会教育委員の委嘱案」の説明をお願いします。

議案第1号 小樽市社会教育委員の委嘱案

生涯学習課長 「議案第1号 小樽市社会教育委員の委嘱案」について、御説明いたします。

この議案を提出いたしましたのは、社会教育法第15条の規定により設置しております、社会教育委員13名について、現委員が本年10月3日をもって任期が満了となることから、各機関からの推薦などに基づき、新たに委嘱するもので、任期は令和6年10月4日から、令和8年10月3日までの2年間となります。

資料の2ページ目が新委員の一覧表、3ページ目が旧委員の一覧表になっており、新任の委員をゴシック体で表記しております。

今回は、委員を務めていただいていた濱本進様が、在任中の昨年8月に急逝され、その後空席となっていたことから委員の補充を行うほか、1名の委員の交代を行いたいというものであります。まず、交代する委員であります、社会教育関係者の小樽青年会議所からは、木村年宏氏から、新たに専務理事の笠田健太郎氏が推薦されたことから、委員を交代するものであります。

また、濱本進委員には、これまで学識経験者として助言をいただいていたことから、後任には、市内中学校の教員で、北海道教育委員会社会教育主事として赤井川村に派遣されていた経験がある、福田泰男氏が社会教育と学校教育の両方の現場を熟知されている方として、最も適任であると判断し、新委員としての委嘱を提案するものであります。

なお、その他の11名の委員につきましては、確認したところ、全員再任していただけるとのことでしたので、再度委嘱する案となっております。

以上、御審議のほど、よろしくお願いいたします。

教育長 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。
よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

教育長 それでは、本件を終了させていただきます。

続きまして、「報告第1号 令和6年度 第75回 小樽市文化祭について」の説明をお願いします。

報告第1号 令和6年度 第75回 小樽市文化祭について

生涯学習課長 「報告第1号 令和6年度 第75回 小樽市文化祭」について、御報告いたします。

データ上の資料と本日お手元にお配りした小樽市文化祭のリーフレットの内容について、簡単に御説明いたします。

今年の「小樽市文化祭」は、本日、9月26日から始まりました美術市展を皮切りに、11月3日まで、美術館、生涯学習プラザ、市民会館、市民センターの4つの会場で14種目の展示や発表が行われます。

公募と書かれている、美術、書道、写真、ユース展、俳句、短歌、川柳の各部門は、市民や市内で活動されている市外の方々などから作品を募集し、審査の上、表彰を行うものとなっております。

公募以外の展示については、市内の団体による作品展などとして、「盆栽展」、「お茶会」、「書遊展」、「合同華展」、「押し花アート展」が開催されます。

11月3日文化の日は、市民会館におきまして、バンド演奏などを行う「スペシャルライブステージ」を、市民センターでは「古典のにぎわい箏曲と越後踊り」のステージを行うこととしております。

いずれも入場無料となっておりますので、多くの皆さんに文化・芸術の秋を楽しんでいただきたいと思います。

報告は以上であります。

教育長 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。
よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

教育長 今日からスタートしたということでよろしいでしょうか。

生涯学習課長 はい。

教育長 それでは、本件を終了させていただきます。

続きまして、「報告第2号 公立高等学校配置計画（令和7年度（2025年度）～9年度（2027年度））及び令和7年度（2025年度）公立特別支援学校配置計画について」の説明をお願いします。

報告第2号 公立高等学校配置計画（令和7年度（2025年度）～9年度（2027年度））及び令

和7年度（2025年度）公立特別支援学校配置計画について

学校教育支援室主幹（学務担当） 「報告第2号 公立高等学校配置計画（令和7年度（2025年度）～9年度（2027年度））及び令和7年度（2025年度）公立特別支援学校配置計画について」御報告いたします。

6月の定例会で同配置計画（案）をお示ししたところですが、本資料は、今日3日付で道教委が配置計画を策定したことを示したものです。

はじめに、北海道全体について御説明いたします。2ページから8ページは、配置計画として概要及び内訳を示しております。

2ページを御覧ください。公立高等学校配置計画について、令和7年度から順に御説明いたします。

「4 配置計画の概要」の「（2）令和7年度高校配置計画の変更」の「ア 学級増」につきましては、令和6年度の入学者選抜の結果、第2次募集後の入学者に1学級相当以上の欠員が生じ、学級減を行った16校のうち、芦別高校など10校について、また、広尾高校についても、中卒者数の状況などを勘案し、それぞれ1学級増を行うとされています。

同じく「イ 再編統合・普通科新学科の設置」につきましては、岩見沢東と岩見沢西の再編統合により設置する新設校について、検討中としていた普通科新学科の名称が、文理探究科となりました。

学級数の内訳につきましては、後ほど5ページで触れさせていただきます。

「（3）令和8年度高校配置計画の変更」の「全日制課程」「ア 学級減・学科転換」につきましては、1学級減とする函館水産の、水産食品科及び品質管理流通科を食品創造科に学科転換いたします。下段「定時制課程・全日制課程」の「ア 募集停止・新設」に記載されております、ニセコにつきましては、後ほど御説明させていただきます。「4 配置計画の概要」の「（4）令和9年度高校配置計画」の「ア 学級減」では、オホーツク中学区の北見商業と釧路学区の釧路江南が1減となっており、「イ 再編整備」では、渡島学区の南茅部が募集停止となっております。

続きまして5ページを御覧ください。

「4 配置計画の学校別内訳」の「（1）令和6年度道立高等学校入学者選抜における第2次募集後に学級減となった学校の取扱い」ですが、この春、学級減となった道内16校の一覧が示されております。表の1段目、空知南学区の岩見沢東と岩見沢西は、再編統合となり、令和6年度の募集学級数は、合わせて8でしたが、4月の開設学級数は6に減じられ、令和7年度の募集学級数は今年度の募集学級と同じ6になるという計画がされており、その3つ下の段、石狩学区の札幌西陵は、令和6年度の募集学級数は7でしたが、4月の開設学級数は6に減じられ、令和7年度の募集学級数は今年度の開設数と同じ6のままということになっております。札幌西陵のように、令和7年度の募集学級数が今年度と同じ学級数に戻らなかった学校は、道内で4校となっております。

続きまして、15ページ「後志学区高校配置計画」を御覧ください。

令和7年度に表示があります倶知安につきましては、令和6年度の入学者選抜の結果、第2次募集後の入学者に1学級相当以上の欠員が生じたことから、今年度1学級減としており

ますが、令和7年度の募集学級数につきましては、中卒者数の状況などを勘案し、1学級増の計画変更が示されております。令和8年度及び令和9年度の後志学区では、学級増減の計画案は示されておきませんが、令和8年度に定時制のニセコ高校が設置者であるニセコ町の決定により、農業科1学級の募集を停止し、総合学科2学級を新設いたします。

15ページの表、上段には、後志学区内と、その内の小樽市内の中学校卒業生数の推計が示されており、令和10年から13年までの中卒者につきましては、令和9年の卒業生数推計を基準といたしますと、後志学区内では163人、うち小樽市内では93人の減少が見込まれております。このため、後志学区においては令和10年度から令和13年度までの見通しとして、欠員の状況や学校・学科の配置状況を考慮し、小樽市内において定員調整の検討が必要となることが示されております。また、定時制課程につきましても、市内には小樽潮陵と小樽未来創造の2校ありますが、小樽未来創造は、5月1日現在の第1学年の在籍生数が10人未満となるなど、小規模化していることから、生徒の進路動向を踏まえながら今後の在り方について検討が必要と示されております。

次に、特別支援学校の配置計画について御説明します。公立高等学校配置計画30ページの次のページから始まります、令和7年度「公立特別支援学校配置計画」の3ページを御覧ください。

市内には、特別支援学校が2校あり、3ページの2つ目の表にある高等聾学校の普通科は、令和6年度と比較し令和7年度の学級数が1増となっており、3つ目の表の下から2つ目にある小樽高等支援学校は、令和6年度と令和7年度の学級数・定員に増減がない計画となっております。また、7ページを御覧ください。知的障害特別支援学校高等部の職業学科等の配置の今後の見通しとして、道央圏について令和8年度に8学級相当の確保を検討すること、また、欄外注釈には、同じく道央圏については、さらに数年後、出願者数の増加が見込まれるため、既存施設等の活用による対応を検討する必要があると示されております。

報告は、以上です。

教育長 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。
よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

教育長 それでは、本件を終了いたします。
続きまして、その他の報告で「寄附採納について」の説明をお願いします。

その他 寄附採納について

教育総務課長 寄附が7件ございましたので、御報告いたします。

1件目は、北海道ワイン株式会社様から、子どもたちの子育て支援の充実のため、小樽市教育振興資金基金に100万円を御寄附いただきました。

こちらは、会社創立50周年を記念して御寄附をいただいたもので、市長から篤志者表彰

として表彰状をお渡ししております。

2件目は、品川正道様から、小樽市奨学資金基金に100万円を御寄附いただきました。

品川様は市内でお店を営業しており、これまで営業できたことへの感謝の気持ちから、困っている人に使ってもらいたいとのことで御寄附をいただいたもので、市長から篤志者表彰として表彰状をお渡ししております。

3件目は、志和裕様から、小樽市交通災害遺児奨学資金基金に1万円を御寄附いただきました。志和様からは平成12年より御寄附をいただいております、先月に引き続き今回で52回目、総額は60万円となります。

4件目は、高坂啓子様から小樽市奨学資金基金に10万円を御寄附いただきました。高坂様からは、平成14年より御寄附をいただいております、今回で43回目、総額は525万円となります。

5件目は、小樽中央ライオンズクラブ様から、創立65周年を迎え、子どもたちの教育に活用してもらいたいとのことで、太陽望遠鏡1台、天体望遠鏡1台、収納ケース1式、合計65万円相当を総合博物館に御寄贈いただき、教育長名で感謝状をお渡ししております。

6件目は、絵本の会ぐりとぐら様から、子どもたちの読書環境充実のため、大型絵本1冊、1万780円相当を朝里小学校に御寄贈いただきました。

7件目は、株式会社Sasson第1回Sassonオープンゴルフトーナメント大会実行委員会様から、市内小中学校生のスポーツへの関心と健康維持に役立ててもらいたいとのことで、望洋台小学校と朝里小学校に体育用具合わせて8万円相当を御寄贈いただき、教育長名で感謝状をお渡ししております。

報告は以上です。

教育長 本件に関しまして、御質問・御意見等ございましたらお願いします。
よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

教育長 それでは、本件を終了させていただきます。
ただ今から非公開の審議に入りますので、報道関係者及び傍聴者の皆様には御退席をお願いいたします。

<非公開の審議開始>

報告第3号 新総合体育館整備事業について

教育部主幹（新総合体育館整備担当）から、「新総合体育館整備事業について」説明し、小澤委員、黒田委員から質問があったほか、全委員一致により了承した。

<非公開の審議終了>

教育長 以上をもちまして、教育委員会第9回定例会を閉会いたします。